

Life Style Modification Program

# December 25, 2009

発行:財団法人日本心臓財団「生活習慣病改善プログラム」運営事務局 お問合せ先:info@LSMP.JP

## 「生活習慣病改善プログラム」実施施設紹介④ 広島県呉市 日下医院

近年、生活習慣病改善の取り組みは、極めて現実的になって きています。呉市では、減塩、低カロリー食をおいしく食べられ ることを目指した社会的活動が大きな注目を集めています。本 プログラムはその活動にも重要な役割を果たしています。

——「こだわりのヘルシーグルメ ダイエット レストラン in

日下医院



院長 日下美穂 先生

呉」という、おもしろい企画を推進されているそうですね? 生活習慣病に社会的関心が高まっている現在、高血圧 専門医として社会に役立つことは何かを考えていて、 2年ほど前から日本高血圧学会や日本高血圧協会、呉 市医師会循環器病研究会を母体にこの企画を進めて います。栄養士やレストランにも参加を呼びかけ、「医 学的根拠に基づいた、減塩、低カロリー食を、町のレ ストランでおいしく食べる」ことによって、「生活習 慣病を予防し、食の意識改革を図る」ことを目指して います。現在は地域の39店が協力してくれていて、 予想以上の話題になっています。実際には、塩分は2  $\sim$ 3g で、 $400\sim600$ kcal、脂肪は少なくすることにし ていますが、食べた人が減塩、低カロリーでもこんな

## ――その活動の中で、本プログラムに着目されたのです ね?

においしいと気づくような料理になっています。

この活動を通じて、患者さんや市民の人達の減塩の意 識はどう変ったか、さらに、血圧値や体重は実際に変 ったのかといった成果を知りたいと思いました。その 手段として、生活習慣病改善プログラムはうってつけ でした。すなわち、本プログラムは、薬剤投与の時期、 種類、増減など治療法を問わない、保険診療内ででき る、過去のデータを入力できるといった特徴があるの で、私のニーズに合ったデータベースになるのです。

### ――実際に、本プログラムをどう使われていますか?

対象患者さんには「生活習慣アンケート」を取ります が、そこに独自の「以前と比べて、塩分をひかえるよ うになりましたか?」という問いを加えました。また、 「データ入力補助票」の他に、「薬剤チェック票」も

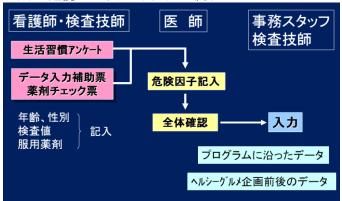
独自に作成。それらで得られた、患者さんの年齢、性 別、検査値、服用薬剤といったデータを検査技師と看 護師が入力します。そこに私が危険因子を記入し、全 体確認をした後に、検査技師と事務スタッフが入力す るといった連携作業で遂行しています。

#### ――本プログラムをどう評価されていますか?

自分でデータベースを構築するのは大変ですが、本プ ログラムをデータベースとして使えば、様々な解析が 可能です。もちろん、個々の患者さんの管理状況をフ オローできますし、自院での治療や生活指導の成果も 知ることができます。こうした便利なツールを駆使し て、「ヘルシーグルメ ダイエット レストラン」とい う社会活動をさらに推進していこうと考えています。



スタッフ連携によるデータ入力の流れ



制作:株式会社ヌーベルプラス 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-6-3 湯島1丁目ビル 電話 03-3814-4455 FAX 03-3814-3388